

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	聖ヨゼフ寮
------	-------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和2年11月3日

③事業者情報

名 称：社会福祉法人 聖ヨゼフ寮 聖ヨゼフ寮	種 別：児童養護施設
代表者氏名：理事長 横井 哲	定員（利用人数）29名（27名）
所在地：〒871-0162 中津市永添2646-4	
TEL：0979-22-2320	

④総評

◇評価の高い点

【理念、基本方針が明文化され周知が図られている。】

理念や基本方針については、パンフレットやホームページに記載されている。職員への周知と理解について、年間1回の理念に関する研修会での説明。朝礼・職員会議の場で施設長から周知しており、また、子どもたちへも適時わかりやすく周知が図られている。

【養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。】

施設長は、養育・支援の質の現状については、毎日評価・分析し朝礼の場で改善のための具体的な取組を明示している。特に、小規模施設建設による、各棟リーダー養成やたまごクラブ（新人職員）ひよこクラブ（2年～3年勤務者）中堅会（4年～5年勤務者）など、施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行い、効果的な施設運営に指導力を発揮している。

【子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。】

「子ども会」に施設長、担当職員が参加し要望を把握している。施設長による個別面談を実施して子どもの意向を定期的に把握している。把握した結果を分析しパソコンの設置を行っている。食事の嗜好調査については、年間2回炊事会議を実施している。

・ライフストーリーワークに取り組んでいる。また、施設長や各専門職などすべてのスタッフが参加するユニット会議で伝え方や内容の検討がなされている。アルバムも制作されており、写真はパソコンのハードディスクに記録している。

・部活などで帰省が遅くなる子どもに対しては、遅くなってもレンジなどを利用して適温で提供できるような工夫がなされている。また、「自炊の日」を設定しており

メニューを子どもたち自ら考えて、買い出しから行っており、調理技術にとどまらない取組を行っている。

◇改善を求められる点

【養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組】

評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みづくりを期待する。

【職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。】

施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されることを期待する。

【養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。】

標準的な実施方法には、基本的な相談・援助技術に関するものだけでなく、養育・支援の実施時の留意点や子どものプライバシーへの配慮、設備等の施設の環境に応じた業務手順等も含まれ、養育・支援全般にわたって施設で定めることを期待する。

・権利擁護についての取り組みを行っているが、プライバシーなど不十分なところがあり、より充実した取り組みを期待したい。権利について正しい理解を促す取組を実施しているが、年齢などに配慮された説明の工夫が望まれる。

・座談会での退所後の苦労話の共有や会食など退所者と職員、入所している子どもが交流する機会の再開に期待したい。また、子どもの見守りなどのかかわりについて、人員配置の面で十分ではない時間帯もあり、十分な人員確保が望まれる。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、このような機会を与えて下さったことに感謝いたします。いただいた評価結果をもとに、より良い安全基地となるよう、尽力して参ります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）